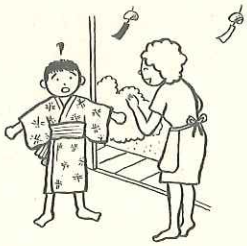
ついじまつ COMMUNICATION 15

ついじまつコミュニケーション：築地松情報誌2001.8月　発行－築地松景観保全対策推進協議会

今年もやってきた夏祭り。おかあさんに着せてもらった浴衣を見せ合いながら、近所の友達と一緒に出かけよう。

「おかあさん、ぼくの浴衣はちょっと短かくてかっこ悪いよ」

「背が伸びたんだよ、がまんして早く行きなさい。友達が待っているよ」



夏の出雲平野は、祭りを楽しむ子ども達のはしゃぎ声がこだまし、暮らしの息吹が満ち溢れている。あたり一面のたんぼは、実りの秋を約束する青々と成長した稲穂でいっぱいだ。

春に陰手刈り（のうてごり）をして風通しの良くなった築地松も、その緑を濃くしながら、浴衣姿の子ども達を見守っている。

出雲平野の築地松調査

平成6年度に当協議会で築地松実態調査を実施しましたが、その後の築地松の状況や住民意識がどのように変化したかを把握し、今後の取組みを検討する基礎資料とするために、平成11年度に再度調査を行い、平成12年度に調査結果を取りまとめました。その概要は、以下のとおりです。

築地松に関する住民意識調査結果の概要

住民の皆さんの築地松に対する意識や築地松保全のために行政に望むことなどについて、2市2町の全戸にアンケート調査を行いました。（回答者数10,775人）その結果、概ね次のようなことが明らかになりました。

～アンケート結果から～

●築地松の役割

「防風」や「陽除け」などの機能はもとより、「地域特有の景観」が約6割にのぼり、出雲平野の景観にとっての重要な役割が広く意識されています。

●築地松を残していく上での問題点

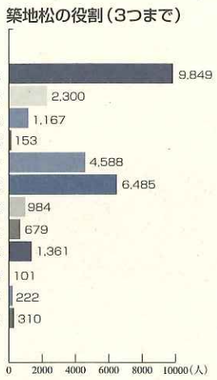
「剪定や防除に経費がかかる」、「陰手刈り職人がいない」などの意見が多い一方、「松葉が落ちる」、「邪魔になる」など生活様式の変化に伴う問題意識も見られます。

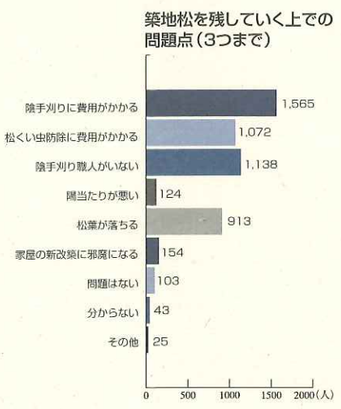
●築地松景観の保全

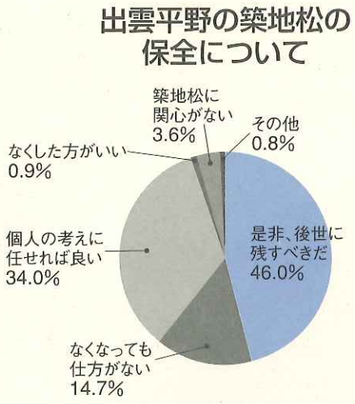
「後世に残すべきだ」との意見が約5割を占める一方、「個人の考えに任せれば良い」、「なくなっても仕方がない」とする意見も相当示されています。

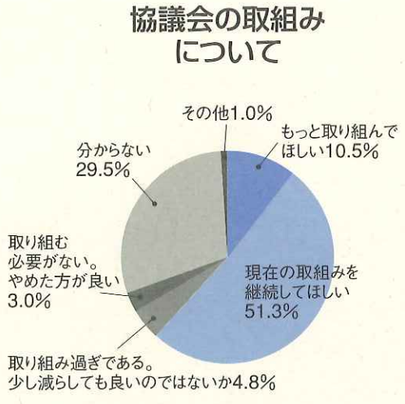
●築地松協議会の取組み

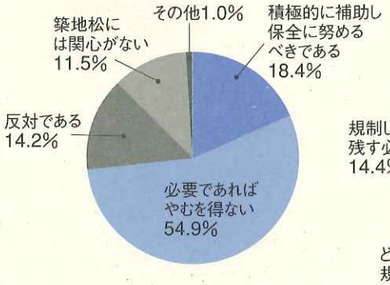
「取組みの継続」や「取組みの拡充」についても6割以上が期待を示しており、さらに、「維持管理のための補助金制度」についても、必要性を指摘する意見が7割以上にのぼっています。

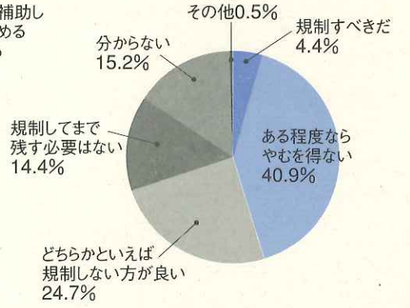












築地松実態調査の概要

■調査期間：
平成11（1999）年7月～同年11月

■調査地域：
出雲市、平田市、斐川町及び大社町の平野部（出雲平野）全域

■調査方法：
全戸訪問による現地調査

■調査機関：
山陰観光研究会
代表：野本晃史岡山商大教授
事務局：作野広和島根大講師ほか

■調査対象基準：
樹高が1階屋根軒先を越える松を1本以上有する屋敷森

■実態調査結果の概要

・出雲平野において**築地松が残存する屋敷**は3,380戸であり、平成6（1994）年の4,117戸から**約17.9%減少**しています。また、**築地松の本数**は22,501本であり、前回調査の20,947本と比べると**7.4%増加**しています。ただし、今回の調査区域は前回調査より若干広くなっています。

・築地松の本数は少し増加しているにもかかわらず、築地松を有する世帯は減少しています。このことから、**築地松の保全に積極的な世帯と消極的な世帯に分かれる傾向がみられます。**

・築地松は出雲平野全域において広く分布していますが、それらには**帯状と塊状**という2種類の分布形状がみられます。**前者は斐伊川や神戸川の旧河道や自然堤防上に形成された集落の分布に依拠しています。**

・各屋敷における築地松の配置形態は**北側・西側に築地松を構えるタイプが最も多く、特に平田市や斐川町で多くみられます。**次いで、**西側のみのタイプ**でこれらは**出雲市と大社町**で非常に多くみられます。

・**築地松の本数を多く有する屋敷は、大社町中央部、斐川町中央部、斐川町北東部の各地区**にあります。一方で、築地松の本数が少ないのは、出雲平野の北端や南端といった平野外縁部や神門川南岸などです。また、斐川町中央部から西部にかけての国道9号線沿いも、本数の少なさが目立っています。

・**屋敷森が松のみで構成されているのは、出雲市・大社町の海岸部、斐川町東部など出雲平野の東西端地域**であり、出雲平野中央部は、築地松に加え広葉樹や竹を含めた屋敷森の構成となっています。

こーからも育ててえかや！築地松

（築地松調査結果報告会及び意見交換会）

調査結果を広く住民の皆様に知っていただくため、「こーからも育ててえかや！築地松」と題して各市町で報告会を開催します。当日は、併せて住民の皆様からの築地松や当協議会に対する御意見をお聞きしたいと考えておりますので、多数の御来場をお待ちしております。

市町名	月　日	時　間	場　所
出雲市	平成13年9月2日(日)	14時～15時30分	出雲市民会館 301会議室
平田市	平成13年9月8日(土)	14時～15時30分	平田学習館 視聴覚ホール
斐川町	平成13年9月15日(土)	19時～20時30分	斐川町中央公民館 3階　講義室
大社町	平成13年9月9日(日)	14時～15時30分	大社町健康福祉センター はつらつ研修室

※当日、御来場者には、当協議会が作成した、「出雲平野の築地松調査報告書」、報告書の概要パンフレット、冊子「陰手刈り職人の技と心」及び記念品をお配りします。なお、同じものが各市町の担当課及び図書館にありますので、是非ご覧ください。

築地松景観保全対策推進協議会からのお知らせ

平成13年5月23日(水)に当協議会の総会を開催し、本年度は、主に次のような事業を実施することを決定しました。

- 築地松調査結果報告会及び意見交換会「こーからも育ててえかや！築地松」の開催
- 築地松景観保全協定地区の航空写真作成
- 築地松景観保全住民協定締結の促進
- 築地松保全に対する助成金の交付
- 陰手刈り座談会の開催
- 陰手刈り技術研修会の実施
- 築地松新植・補植用苗の無料配布

ついコミNET

TUIJIMATU COMMUNICATION NETWORK

「子供たちに伝え、育んでいきたい景観美」

平井悠恵さん (ひらい・はるえ)

大阪府生まれ。仁多郡横田町在住。県内高校卒業後、島根大学教育学部に進み、卒業論文のテーマを「簸川平野における築地松景観の変化とその要因」とし、独自に築地松の調査を実施。

この春、島根大学教育学部を卒業して横田郵便局に就職した平井さんは、卒業論文のテーマに築地松を取り上げた。きっかけは所属する研究室の担当が、山陰観光研究会の作野広和先生だったこともあり、築地松景観保全対策推進協議会が委託した“築地松実態調査および住民意識調査”（1999年・2000年度）について、３年生の時から調査活動に参加し、県の調査資料に助けを借りながら、築地松について自分なりの視点でさらに探求してみようと思ったのだ。

「築地松に初めて興味を抱いたのは、斐川町に住んでいた中学２年生の時です。その年に台風19号が来て、まわりの大人たちがさかんに“ついじまつ”という言葉を口にするので、何のことだろう？と思いました。後で、台風・洪水などの自然災害から家を守るための役割があり、出雲地方では古くから受け継がれている生活の知恵だということを知ったんです。この台風に出会ったことで、風景の一部だった築地松の存在が身近なものになりましたね。」

県立出雲高校から島根大学に進学した平井さんは、１年生の授業で築地松の写真を撮ることになった。「カメラを抱え、近づいて見て驚きました。一列に揃って高くのびた松の木の先端を見上げると、枝葉がきれいに剪定してあります。普段は遠くから眺めてきれいだと感じていたけれど、その美しさは行き届いた手入れがあってこそ生まれるということが分かりました。」築地松を構える家々の方の苦労も垣間見えた。だからこそ、地域で育まれてきた伝統文化を失ってほしくない。その思いが、作野研究室の調査参加、卒業論文作成に向けての平井さんのエネルギーとなった。

斐川町の上直江・福富・美南の３地区850世帯へのアンケート郵送と40世帯におよぶ聞き取り調査。この作業や、アンケートの分析を通して、平井さんの「築地松を残していきたい」という願いはより強くなった。「（築地松は）自分の代限りでおしまいにしたい、子供には大変な思いをさせたくないという意見や、今の住宅環境では不可欠なものではない、という意見もありました。でも、強い生命力を持つクロマツで造られた景観美は、全国でも出雲・簸川平野独特のもの。たとえば、シンポジウムなどを開催して保存のための努力や活動を、もっとアピールすることで、地域に暮らす人たちの意識も変わってくるのではないでしょうか。」

築地松の調査に取り組んだ２年間を経て、平井さんはさらに築地松に惚れこんでしまった。仕事にゆとりができれば、また作野先生を通して築地松の保全活動に協力したいという。「地域の子供たちに伝えたいんです。築地松は全国でもここだけにしか無い、ふるさとの自慢なんだよ、って。」

ついじまつクロスワードパズル

A～Dまでにことばをいれて、テレホンカードをもらっちゃおう!

タテのカギ

1．風にふかれるときれいな音を出すもの
2．海上でするのは○○○スポーツ
3．５月になると屋根の上で泳ぐ魚
4．梅干と食べ合わせが悪いと言われている
8．平田市にできた水族館
10．夏の果物、最近は黄色いものや四角いものもある
11．英語でフィッシングという
12．朝起きてまず洗うもの

ヨコのカギ

1．お茶好きの松江の殿様
5．メロンやキュウリはこれの仲間
6．大発生するとお米が不作になる
7．ジョン、ポール、ジョージ、○○○
9．玉を穴におとして競うゲームは○○ヤード
11．グルメのことを日本語で言うと食○○
12．シジミやハマグリのこと
13．斐川町湯の川温泉近くにある農村型テーマパーク

キーワード

A	B	て	C	D

ヒント：築地松をきれいに“さんぱつ”すること。

正解の方から抽選で30名の方に
オリジナルテレホンカードをプレゼント!!

■応募方法：ハガキに住所、氏名と答え（キーワード）を書いて、下記の島根県景観自然課又は市町役場担当課あてにお送りください。

▼締め切り：平成13年10月31日（当日消印有効）
当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせて頂きます。
正解は次号で発表します。

築地松景観保全対策推進協議会

島根県環境生活部景観自然課　〒690-8501 松江市殿町１番地　電話 0852-22-6143
島根県出雲総務事務所　〒693-8530 出雲市大津町1139　電話 0853-23-1515
出雲市都市整備部都市計画課　〒693-8530 出雲市今市町109-1　電話 0853-21-2211
平田市建設経済部農山村整備課　〒691-8601 平田市平田町951-1　電話 0853-63-5546
斐川町環境政策課　〒699-0592 斐川町大字荘原町217-2　電話 0853-73-9256
大社町農林水産課　〒699-0792 大社町大字杵築南1395　電話 0853-53-3113

ついじまつホームページアドレス　http://www.pref.shimane.jp/section/keikan/